

ナースエイド業務量調査報告

ーナースエイドとの効果的な役割分担により、看護職が専門性を発揮でき、効率的な看護実践が展開できる職場環境を整えるー

業務担当主任会 グループ活動 2グループ

○柴田郁 (NICU・GCU)

山内康史(14南) 原口陽子(12南) 石川美江(8北)

山吹美貴(看事務) 宮田公子(救急) 草分明子(7北)

早川則子(9北) 伊藤加代子(8南)

【はじめに】

昨年度のナースエイドに関する看護研究の今後の課題と各病棟のSWOT分析から、業務担当主任会グループ活動で「ナースエイドとの効果的な役割分担により、看護職が専門性を発揮でき、効率的な看護実践が展開できる職場環境を整える」に取り組んだ。

【方法】

今年度の看護職の業務量調査に合わせて、ナースエイドの時間帯別の業務量調査を行い、業務の基礎値の算出と時間帯別の業務の実態を把握し、業務改善の資料とする。

【結果】

ナースエイドが担った業務で、最も件数が多かったのは「状態の安定した留置物2本までの患者の車いす移動・移送」で13,864分918件・基礎値15.1分であった。次いで「薬品・物品補充・収納と整理」で5,013分438件・11.5分、「リニア以外の搬送」3,480分384件・9.1分であった。

基礎値の最も高い業務は「外回り業務」の40.8分、次いで「看護師とともに行った特浴の介助」23.1分、「ナースエイドが一人で行った特浴の準備・片付け」20.0分であった。なお、昨年度、役割分担が進んだ業務と進まなかった業務の基礎値に大差はなかった。

【考察】

業務担当主任会の講義の中で「業務改善の可視化のポイント」は「数値化できないものは、マネジメントできない」を学んだ。ナースエイドの業務の基礎値を算出し、時間帯別の業務の実態が可視化できたことは、マネジメントできることを意味する。「ナースエイドとの効果的な役割分担により、看護職が専門性を発揮でき、効率的な看護実践が展開できる職場環境を整える」ことは、継続的な課題であり、終わりはない。患者に良質な医療を提供するために、ナース

スエイドとの協働は欠かせない。ナースエイドにとっても働きやすい環境を整えていくとともに、今回得たデータを次年度の業務改善に役立てたい。

ナースエイド 業務量調査報告

ーナースエイドとの効果的な役割分担により、看護職が専門性を発揮でき、効率的な看護実践が展開できる職場環境を整えるー

業務担当主任会 グループ活動 2グループ

山内康史 原口陽子 石川美江 山吹美貴 宮田公子 柴田郁 草分明子 早川則子 伊藤加代子

活動テーマの検討

- 平成24年度診療報酬改定
 - ⇒急性期における看護補助者配置の評価
 - 新：25対1急性期看護補助者配置
- 平成23年度看護研究発表会
 - ⇒役割分担が進んだ業務と BSC: 状態の安定した留置物2本までの患者の車いす移動・移送
 - ⇒役割分担が進んでいない業務がある BSC: ナースエイドが一人でいった部屋移動

☆調査結果に基づいて役割分担の推進
☆役割分担が進まない理由の分析

業務量調査の結果

平成23年度に役割分担が進んだ業務の基礎値

業務内容	総時間数/件数	基礎値
状態の安定した留置物2本までの患者の車いす移動・移送	13864分/918件	15.1分
ナースエイドが一人でいった部屋移動	1305分/116件	11.3分
病棟オリエンテーション	1060分/90件	11.8分

活動テーマ<目的と目標>

<目的>
ナースエイドとの効果的な役割分担により、看護職が専門性を発揮でき、効率的な看護実践が展開できる職場環境を整える。

<目標>

- ナースエイドの業務量調査を行い、ナースエイド業務の現状把握と業務改善課題を抽出する。
- グループ内の病棟所属のナースエイドの成長を支援する。

業務量調査の実施

- 対象：グループ内の所属病棟のナースエイド

業務量調査の結果と分析

- 業務集中時間がある
- 業務の空白時間はない
- 時間に余裕のある曜日もある など

業務量調査の結果

件数別(上位)

業務内容	総時間数/件数	基礎値
状態の安定した留置物2本までの患者の車いす移動・移送	13864分/918件	15.1分
薬品・物品補充・収納と整理	5013分/438件	11.5分
リニア以外の搬送	3480分/384件	9.1分

業務量調査の結果

基礎値別(上位)

業務内容	総時間数/件数	基礎値
看護師とともに行った特浴の介助	185分/8件	23.1分
ナースエイドが一人でいった特浴の準備・片付け	220分/11件	20.0分
看護師とともに行った身長・体重測定	38分/2件	19.0分

今後の課題

- ☆各病棟で分析・業務改善の資料とする
 - ①業務量調査の集計結果を配布
 - ②分析⇒特徴や役割分担の把握
 - ③課題を抽出し、役割分担を推進

継続的な課題
⇒ナースエイドとの効果的な役割分担により、看護職が専門性を発揮でき、効率的な看護実践が展開できる職場環境を整える。

☆ナースエイドの皆さん☆
調査へのご協力、ありがとうございました。患者さんに良質な看護を提供するためには、皆さんの力は欠かせません。これからも よろしくお願ひします。